

Q

手首を骨折しました。舟状骨骨折で治りにくいと言われました。



社会医療法人三車会
公式キャラクター
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ
テーション病院

手・足の外科センター

整形外科専門医 手外科専門医

谷口 泰徳 副院長・センター長

A

手首には8つの小さな骨があり、その内の1つが舟状骨(しゅうじょうこつ)と呼ばれる

診断されて治療の開始が遅れることもあります。そのため、MRIやCT検査を行い早めに骨折を発見する様にします。

ような形をしているので舟状骨(しゅうじょうこつ)と呼ばれます。この舟状骨の骨折はスポーツや転倒、交通事故で手を反らして強くついた時に起こります。症状は手首の親指側に腫れと痛みがあり、手首を動かすと痛みが増悪します。舟状骨は血流が悪いため、治りにくい骨折の1つです。適切な治療を受けずにいると骨が壊死して手首全体の関節が変形し、慢性的な痛みが生じます。そのため早期に発見して適切な治療を行うことが大切です。レントゲン検査で骨折が見逃され、捻挫と

治療は早く発見され骨折のズレが小さい時はギプス固定で治します。しかしギプス固定では治療に時間がかかるため、早期復帰を希望するスポーツ選手では手術を選択することもあります。ズレが大きくて受傷後長期間経過している時は手術が行われます。手術はスクリューにより骨折部を固定します。骨折した骨がつかず、ぐらぐら動いている状態になると骨を移植する高度な手術が必要になります。詳しいことは手外科専門医にご相談下さい。

Q 1年前に野球で手首を痛めました。舟状骨偽関節と言われました。



社会医療法人三車会
公式キャラクター
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ
テーション病院

手外科専門医・足の外科認定医
整形外科専門医

谷口 泰徳 副院長



手首には8つ

の小さな骨があります。その内の親指

側にある一つが、舟のような形をしているので舟状骨（しゅうじょうこつ）と呼ばれます。スポーツやバイクなどの転倒事故で、手首を反らして手の平を強くついた時に舟状骨骨折が起こります。この舟状骨骨折が適切な治療をされずに放置されていると骨折した骨がつかず、骨折部が関節のようにグラグラ動き、手首に慢性的の痛みが出ます。この状態を舟状骨偽関節（しゅうじょうこつぎかんせつ）と呼びます。舟状骨骨折では、偽関節にならないために早期に骨折を発見して適切な治

療を行うことが大切です。

レントゲン検査では骨折が見逃され捻挫と診断され、骨折の治療がされず偽関節になることがあります。それを予防するため早期診断にMRI、CT検査が必要です。舟状骨は血流が悪いため、治りにくい骨折の一つです。舟状骨骨折の治療は、ギプス固定か手術を行います。骨折部が大きくズレている時は、スクリューにより骨折部を固定する手術をします。舟状骨偽関節になると全身麻酔で骨を移植してスクリューで固定する高度な手術が必要になります。治療期間も長くなります。詳しいことは手外科専門医にご相談下さい。